



晴耕雨読。雨の日には読書を！

校長 石踊 晴元

6月12日、昨年より1か月、例年より12日遅く梅雨入りしました。田畑の農作物にとっては大切な雨。梅雨末期にはどこかの地域で水害が発生しています。今年は、農作物や日常生活に被害がでない程度の降水量であってほしいと願っているところです。さて、このような時期、家の中で過ごすにはぴったりの季節だと思いませんか？外界から少し離れた雨の日の部屋で耳にする雨音のBGM。「読書の秋」ならぬ「梅雨時期の読書」はいかがでしょうか。

本校では、学校経営方針に「読書指導の充実と情操教育の推進」を掲げ、次のような取組をしています。

○ 読書タイム（毎月3回程度）

各自で読書をする日と縦割り班で読書をする日を設定しています。縦割り班での活動日には輪番で児童が読み聞かせをします。

○ 読書月間の設定（5月、10月）

個人の取組としては、「必読書の読書ビンゴ」、全体の取組としては「全校読書まつり」を開催し、総務委員会による読書クイズ、読み聞かせ等を行います。

○ 「親子読書の日」の推進（毎月23日）

鹿児島県では「親子読書の日」を設定しています。保護者の皆様にお知らせするとともに、毎月23日には親子読書に取り組んでもらいたいと思います。

そして、15日（水）には、町図書室の出前読み聞かせがありました。5校時、子供たちは体育館に集合し、ロール紙芝居「スクール戦隊ケッセンジャー」を鑑賞しました。この紙芝居は手作りで、錦江町の戦隊が悪の組織から「差別をしない心」「故郷を大切に作る心」を守る内容でした。神川の大滝や旗山神社、花瀬公園等も登場しました。本校の職員2名も声優として参加しました。子供たちも紙芝居の世界に引き込まれていました。

昔から「晴耕雨読」という言葉もあります。この時期、ぜひ親子で読書に親しみ、本の世界を旅してみたいと思います。



【縦割り班読み聞かせ】



【町図書室出前読み聞かせ】

自分を大事にできる人に！

本校では、人権同和教育の充実を図るため、月ごとに人権目標を決めて実践したり、6月と12月に人権週間を設定したりして、人権教育に取り組んでいます。

1回目の人権週間は6月13日（月）から17日（金）に設定し、子供たちは、人権標語を作成しました。そして、14日（火）の「ずっとともだち集会」で一人ずつ標語と作成理由を発表しました。どの標語からも楽しい学校生活にしたいという思いが伝わってきました。それから、「トロブス」という勝者を決めないじゃんけんゲームを通して、気持ちを合わせることの大切さ、コミュニケーション能力を高める学習をしました。

今後も、友達と仲よくすることの大切さ、相手の気持ちを考えて行動することの大切さ等に気付かせながら、楽しい学校生活が送れるように指導を継続したいと思います。そのためには、自分のことを好きになり、自分を大事にできる人になってもらいたいと思っています。自分を大事にすることで、他人も大事にできるようになると思うからです。子供たちが作成した人権標語は学校に掲示したり、「日めくり標語集」にして毎日唱えたりして、人権意識を高めていきます。



【子供たちの人権標語】



【トロブスのゲーム】